

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策
国語	知識及び技能	・日頃のスピーチや日記などの文章を順序よく考えて話すことが苦手な児童がいる。言葉の遣い方にも個人差がある。	・話の内容に合わせた様子や、行動、自分の気持ちなどを表す語句を増やして、伝えたいことを話したり日記にまとめたりする。
	思考力、判断力、表現力等	・文章を読んで理解したことをもとに、感想や考えをまとめることが苦手な児童が多い。	・感じたことや考えたことに自信をもたせるために共有し、同じ考えや違いに気が付かせて考えを深めていく。
	学びに向かう力、人間性	・自分の考えを意欲的に発表する児童が多くいる。発表できなくても、友達の意見を聞いて考えをもつ児童もいる。	・発言することが少ない児童の様子を見取することを意識した授業計画や少人数での話し合いなどの手立てを工夫する。
社会	知識及び技能	・表やグラフの読み取りは多くの児童ができています。学習内容については、授業内では理解するが定着していない児童が見られる。	・表やグラフを読み取る活動は、今後も様々な場面で取り組み、単元の終わりには学習内容のまとめや復習を丁寧に行う。
	思考力、判断力、表現力等	・資料から読み取ったことに対する自分の考えを表現できない児童が多い。	・資料提示の工夫をしていく。 ・全体への発問に加えて、必要な児童には追加で補助発問をして、より考えやすいように支援をする。
	学びに向かう力、人間性	・身近な学習内容であるため、積極的に学習に参加する児童が多く、学習問題に対する関心が高い。	・教科書だけでなく、自分で調べられる学習も取り入れてより興味をもたせられるようにする。 ・体験や見学等を積極的に取り入れ、学習を深められる機会を今後も多くする。
算数	知識及び技能	・基礎基本の定着に時間がかかる児童もいるが、比較的積み重ねていくことで力をつけることができる。	・レディネステストの結果などを受け、習熟度別に問題数を変えたり、授業計画を考えたりして定着を図っている。
	思考力、判断力、表現力等	・自分の考えをノートに書いたり、進んで発表しようとする児童が多いが答えの説明することに難しさを感じる児童も多い。	・自力解決の際に自分の考えがもてない児童にヒントを与えるなどして、全員が考えをもてるようにする。
	学びに向かう力、人間性	・定着に時間はかかるが、意欲も持っている児童が多い。計算や問題を解くことに楽しさを感じている。	・習熟度別学習では、個別で指導できるよう定着が難しいコースは人数を少なくするなど、効果を高められる環境を作る。
理科	知識及び技能	・知識(新しく学ぶ用語)などの定着が弱い。 ・実験の際は、道具の扱いなどは自分で考えながらできる児童が多い。	・新しい言葉は繰り返し扱うことで定着を図る。 ・実験は、コロナ対応で場所の確保や器具の数が揃わないため時間がかかるのでその対応を行う。
	思考力、判断力、表現力等	・予想を考えたり、書いたりすることは進んでできる児童が多い。ただ、実験結果のそこから何が言えるか(考察)になると、書けない。	・教師側で発問を工夫し、どこに着眼して考えればよいかをサポートする。 ・キーワードを挙げて考えさせる。
	学びに向かう力、人間性	・実験をやってみたい、生活経験や既習から考えてみようとする意欲はかなりある。	・実験を行う際に、コロナ対応を考えながら目を向けるところをさらに絞り、考えを深められるようにする。

音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習したことを理解している児童が多いが、技能面において大きく個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を有効に使用して、反復練習をなど行い、児童に習得させる。 ・リコーダーの技能が追い付かない児童は、個別に声かけをして、指導する。
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が表現したい音楽を考え、様々な発想につながられているが、深い思考には至っていないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が表現した時に、自分の思いを、どのような思いで考えたのか聞いていくことで、表現と思いを一体化させていく。
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなことでつまずいたり、思っていることと違ったことが起こったりすると、意欲をなくしてしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな活動を一つ一つほめるようにする。毎回の授業の大きな流れをつくり、途中で意欲をなくしても、また切り替えて児童が臨めるようにする。
図画工作	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの材料や用具についての経験を生かして安全につくることができているが、技能面では個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく出てくる用具や道具は初めに安全で適切に扱う方法を知らせる。
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・独自の世界を大切にし、発想や構想を広げ、さまざまな思いつきを楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材やその提示の仕方を工夫し、一人ひとりの発想の良さを適切な場面で認め、全体に紹介するなど工夫する。
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて、意欲的に造形活動を楽しんでいる。平面表現に苦手意識をもっている児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その子なりに工夫して制作しているところを励ます。 ・作品を見合う機会を設定し、感想を共有することで認め合える雰囲気をつくる。
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの積み重ねによりできる運動は増えているが、得意な児童とそうでない児童の差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな運動を取り入れスモールステップで苦手意識をもたずに運動に取り組めるようにする。
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自分でどこまでできるか考えたり、チームで作戦を立てたりして児童同士が関わりあってゲームや運動ができるように考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に教師が作戦や動きなどを提示して、児童同士が関わり合って運動やゲームができるよう手立てを工夫する。
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・体育は好きだが、自分がやりたいだけになってしまい、ルールやマナーを意識できなくなる児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の記録を伸ばすことも大切であるが、そのためにはルールやマナーを意識して安全に運動することが大切であることを知らせる。